



N A W C C
108.CENTRAL TOKYO
古典時計協会

平成20年11月例会 11月23日(日) 13~17時

江東区砂町文化センター 2F 和室

〒136-0073 東京都江東区北砂 5-1-7 TEL03-3640-1751

都営新宿線 大島駅 徒歩17分



バス利用の場合

1. 都営地下鉄新宿線「西大島」駅より
都バス都07系統「門前仲町」行き
都バス亀29系統「なぎさニュータウン」行き
都バス両28系統「葛西橋(葛西車庫)」行き
2. JR総武線「亀戸」駅より都バス亀29系統
「なぎさニュータウン」行き
3. JR総武線「錦糸町」駅より都バス都07系統
「門前仲町」行き
4. 東京メトロ東西線「東陽町」より都バス都07
系統「錦糸町駅」行き

1~4の場合「北砂二丁目」下車徒歩10分

5. 東京メトロ東西線「南砂町」より
都バス亀23系統「亀戸駅」行き
「北砂七丁目」下車徒歩5分

次回例会日程

12/21(日) 江東区東大島文化センター 2F 和室 13時~17時

10 月例会報告

10月例会は 28 日に東大島文化センターで開催され、36名の参加となりました。

尚、桑名副会長よりお茶菓子をいただきました。

ありがとうございました。



上瀬規格局長より **金属粉用掃除機、天真見本** 旋盤作業に伴い、多量の金属粉が発生しますが、通常の掃除機で吸引すると、フィルターがすぐに目詰まりを起こします。

そこで、画像のように中間にプラスチック製のビンをつけて金属粉が溜まるようにし、掃除機本体、フィルターに影響が及ばないようにしたものです。

水道用の塩ビ管を使用していますが、空気の流れを妨げないように、太いパイプの中間に卵形の穴をあけ、そこにパイプを挿入するといった工夫がなされています。



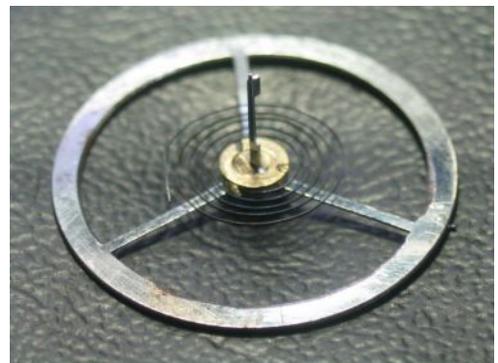
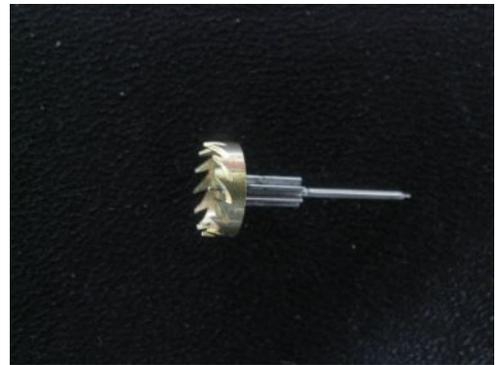
また、9月の欧州旅行の様や、時計市で入手した天真、巻芯、穴石の拡大見本の展示などをしていただきました。

シリンダー用の天芯の形状などが興味深いものです。



正木 元弘さんより バージ (冠形脱進器)・フュージー (鎖引懐中時計)

フュージーチェーンのサビや冠形歯車の磨耗が激しく、動作を回復するには
厳しい状態ではありますが、当時の時計の構造を詳しく知ることが出来ます。
19世紀前半の英国製と推測されます。



山崎 伸さんより ウォッチペーパー

当時、懐中時計の裏蓋内側に貼られて、
お店の宣伝や修理の履歴をあらわすのに
使われていたものです。
年号や日付を書き入れる欄があるものも多く
見受けられます。



事務局大友 より オメガ懐中時計

今回のテレビ東京の取材で使われたもので、ムーブメントのシリアルから、1930年前後の製品であることがわかります。

ゼンマイの交換履歴はあるものの、ガラスも当時のものと思われる平面形状のものが装着されています。

当初、文字盤を上にとするとテンプが停止してしまうため、天真の折れによる停止と思いましたが、2番車芯の著しい磨耗のため、ゼンマイのトルクで歯車面が傾き、その状態で文字盤を上にとすると天真アガキにより、テンプが僅かに(1/20mm程度)下がることによって、テンプ方向に下がって傾いた歯車面とテンワが接触するという不具合でした。



当会のホームページアドレスは、<http://nawcc108.kkjp.com/> です。